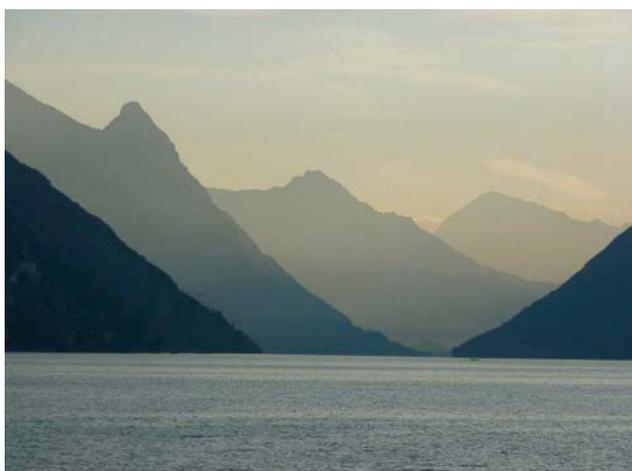


地域美産研究会ニュース No.65

発行:平成 21 年 (2009 年) 11 月 30 日 実施期日:平成 22 年 1 月 30 日 (土)

第 65 回 催事 「スイス周辺の建築を巡る」ポッタ、コルビジェ、他



ヨーロッパを地中海側と大平原側に分かつアルプスがスイスという国を作っている。イタリア・ドイツ・フランスに隣接する地域の人々がアルプスという自然の要害にまもられて仲良しクラブを構成しているといったらよいだろう。ルガーノはスイスの南部、ティチーノ州の中心的な都市であり、スイスのイタリア語圏で最も大きな都市である。急峻な山あいにあるルガーノ湖に面し、イタリアの国境もすぐ近くだ。チューリッヒからは航空便も良いが、列車旅行も車窓からの景色がすばらしい。



医療建築がグローバル化し、医療に対する機能的側面が強調されるあまり、変わり映えのしない最近の病院デザインに、何かうんざりしている自分にとって、世界的建築家マリオ・ポッタと建築を語るのは建築観のコーナーストーンを確認するのに等しいイベントだ。宗教性を建築にももの見事に翻訳してしまう彼の天才を思うとき、医療建築も同じようなことを期待しても良いのではないかと考えた。

写真>上: ルガーノ湖

下左: タマロ山礼拝所(ポッタ) 下中: ロンシャン教会(コルビジェ) 下右: ビトラ家具工場(ゲリー)

企画・案内 桑野隆司 (くわの・たかし)

建築家。専門は医療福祉施設。大阪府出身。49 年生まれ。天王寺高校・名古屋工業大学・同大学院を経て 74 年日本設計に入社。日本における初の超高層ビル「霞ヶ関ビル」の設計者が創立した日本設計で医療施設設計を担当。代表作品に昭和大学病院中央棟(医療福祉建築賞)、川崎市立川崎病院(神奈川県優秀建築賞)がある。現在日本設計専任部長、日本設計メディカルコア代表取締役

第 65 回催事 美産研究会『スイス周辺の建築を巡る』

	日	時	平成 22 年 (2010) 1 月 30 日 (土) 17:00~18:30
	場	所	パブリックアート研究所図書室 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5 丁目 2 番 8 号 (左地図参照；表参道駅 A1 出口から地上へ)
	企 画 ・ 解 説	桑野隆司 日本設計 代表取締役、	
	参 加 人 数	20 名。	
	参 加 費	会員 1,000 円 一般 2,000 円	
	交 歓 会	研究会後、新年会を兼ね アート談義を楽しむ会。 ほの字 青山店 費用別途 (当日自由参加)	
	当日の連絡先	090-7827-8228 (藤嶋)	

第 65 回催事： 参加申込書

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

- ① **1 月 28 日 (木) 迄**にこの申込書をメール、FAX (045-361-0461) 又は郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
住 所	〒				
生年月日	大正/昭和/平成 (西暦) 年 月 日				
会員資格	①会員 ②一般 (非会員)				
Tel		Fax			
Tel(携帯)		e-mail			

- ② 参加記入欄 (該当金額欄と交歓会の出欠欄に○を記入してください)

	1 研究会	2 ご寄付 (任意)	3 合計	交歓会	
会員	1,000			出・欠	当日清算
一般 (非会員)	2,000			出・欠	

参加申込と受付 会員優先でお申込先着順となります。以下の申込手続きに従ってお申込みください。

1. 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
2. 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、指定振込口座 (**みずほ銀行 普通口座 4053204 地域美産研究会**) に参加費用を**振込料自己負担**で振込み願います。
3. 振込みの無い場合は参加できない場合があります。
4. 振込み済み料金払い戻し；主催者側瑕疵の場合を除き払い戻しできません。
5. **申込締切日：1月28日 (木)**
6. 郵便宛先：〒241-0836 横浜市旭区万騎が原71 電話・FAX：045-361-0461
メールアドレス：toshie@cc.catv-yokohama.ne.jp

- ③ **振込金額** (上欄○印金額の合計をご記入願います)： ¥ _____

Public Art Forum 地域美産研究会とは

日頃人々が生活する場に創り遺された地域の社会美産*たちを、専門家と一緒に現地に訪ね、歴史と文化、地域性や国際性、美や技、景色などの視点から眺めて味わい、地域の魅力を再発見・再評価する。

(*社会美産と地域美産:パブリックアートの視点を拓ける為の新造語)

地域の魅力再発見・再評価を通して、改めてその土地ならではの歴史や暮らしに愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実安心を得て、自分づくり、家族との絆づくり、仕事づくり、会社づくり、街づくり、国づくりに役立つ何かを見付けながら、仲間達との交歓を楽しむ会員制非営利任意団体です。

会員入会者・催事参加者は、学生・社会人・各分野の専門家など時には外国人を含む幅広い人々が分け隔てなく参加して、各人ならではの参加意図に適った充足感を味わっています。

地域美産研究会は、街づくり景観づくりに関係する地方自治体や都市デザイン・アート分野の人々が集い活動した「パブリックアート・フォーラム」(平成6年~13年、代表幹事 田村 明)を継承した会で、非会員の方々も活動に参加できます。



Public Art Forum 地域美産研究会 設立のきっかけ

パブリックアート・フォーラムは、平成14年(2002)12月迄の過去10年間、美術館から街中に出て、各地の街角や広場に設置された彫刻に代表されるパブリックアートたちに焦点を合わせて、もっぱら欧米におけるそれらの役割・効果を倣って、普及・研究活動を行ってきました。

その後、米国のパブリックアート著名作家 マヤ・リンが、伊勢神宮を日本の優れたパブリックアートとして挙げたこと、環境美学研究家バーバラ・サンドリッセがその著述「パブリックアートとしての鳥居、その不思議な魅力(2000年刊)」で、日本の鳥居をパブリックアートとして大変高く評価したこと、平成13(2001)年、女史の来日を記念して開催した特別フォーラム「バーバラ・サンドリッセと都心の鳥居を探訪し、女史の話を聞く会」での体験が、パブリックアートに対する私達の視点を大きく広げて、新しい活動を促しました。

私たちがごく身近に古くから在って、地域の生活と密接に係わりながらその地の生活文化を創り育て、人々の心の拠り所になってきた、その地ならではの美しき良きモノたちを、従来型のパブリックアートを含めて現地に訪ね、肌で味わい評価する。

それらの再発見・再評価を通じて、地域の暮らしと歴史に愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実・安寧を得ながら次代を生き抜く力とする。「Public Art Forum 地域美産研究会」(昨年度迄は「地域美産研究・探訪会」)は、このような主旨から平成14年12月1日に設立された活動団体です。



Public Art Forum 地域美産研究会の事業

- 1 地域美産研究会：
 - 研究会： 「地域美産」の調査・研究・学習・討論会。探訪会とセットの場合有り。
 - 探訪会： 専門家の案内で地域の美産達を現地に訪ね、その魅力を再発見・再評価。
 - 交歓会： 探訪会終了後、その地の銘舗で地域の料理・地酒を味わい参加者同士が交歓。
- 2 会員の才覚とやる気を、催事や事業づくりに活かす「場と機会」の提供：
 - 過去、会員の想いを実現する催事活動を多数開催。詳細問い合わせは研究会へ。
- 3 各種の地域おこし事業受託：
 - 「地域美産研究・探訪会と評価活動」のソフトを活用し、
 - 自治体民間企業等の地域おこし事業の企画・調査・事業 等の受託。
- 4 広報出版活動： <http://www.publicart.co.jp>、会員への定期 News 発送、他。

組織

運営： アドバイザー・会員等の意見・提言を受けて「世話人会」が運営を担う。

(1) 世話人会

創立者／相談役：	杉村 荘吉	(パブリックアート研究所代表)
代 表：	藤嶋 俊會	(美術評論家、元神奈川芸術文化財団)
副 代 表：	伊豆井 秀一	(埼玉県立近代美術館主席学芸主幹)
世 話 人：	石村 誠人	(監事： 駅・街デザインとパブリックアート研究家)
	渡辺 久剛	(会計： 三井不動産ビルマネジメント(株))
	長谷川 総一郎	(彫刻家： 富山大学教授)
	橋本 完	(アート・インキュベータ： アトリエまほろ主宰)
	宝利 修	(ITアドバイザー： ぶんか合同会社プランナー)
(2) アドバイザー	加藤 源	(都市計画設計家、日本都市総合研究所代表)
	後藤 元一	(環境設計家、元札幌市立高専教授)
	建畠 哲	(美術評論家、国立国際美術館館長)
	山岡 義典	(日本NPOセンター副代表 理事)
(3) 名誉会員	田村 明	(都市政策プランナー、法政大名誉教授)
	サンドリッセ・バーバラ	(環境美学研究家) (敬称略)

年間予定 平成 21 年 (2009 年) 11 月 30 日現在

平成 21 年 (2009 年)				
月	日	曜日	内容	企画・案内
7	19	日	大江戸線 & 副都心線の駅舎とアート等の見学会	石村 誠人
8	1	土	「横浜開港 150 周年を歩く！」“黄金町”から“象の鼻”まで	藤嶋 俊會
10	11・12	日・月	水都大阪 2009 + 地域美産	橋本 完
11	14	土	鋳物の街川口を行く	伊豆井 秀一
平成 22 年 (2010 年)				
1	30	土	医療福祉とアート	桑野 隆司
3	6	土	パブリックアートから地域美産へ	杉村 荘吉

* 他に海外ゲストを迎え催事開催の場合あり

【地域美産研究会 入会のご案内】

- 入会は、下記HPからお申込みください。研究会よりご連絡いたします。年会費 ¥5,000～万ーご連絡がない場合、045-361-0461 までご連絡ください。

http://www.publicart.co.jp/PublicArtNew/form/entry_form.html